

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

①第三者評価機関名

NPO 法人ナルク岐阜福祉調査センター岐阜

②施設・事業所情報

名称：たにぐみ幼稚園	種別：保育所型認定こども園	
代表者氏名：高橋 一恵	定員（利用人数）：90名（56名）	
所在地：岐阜県揖斐川町谷汲名礼1247番地1		
TEL：0585-56-3011	ホームページ：http://www.town.ibigawa.lg.jp	
FAX：0585-56-3017：	メール：tanihoiku@town.ibigawa.lg.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 昭和32年4月		
経営法人・設置主体（法人名等）：揖斐川町		
職員数	正規職員： 6名	任用職員 11名
専門職員	園長 1名	保育士 5名
	主任保育士 1名	調理員 2名
	保育士 4名	送迎バス職員 4名
施設・設備の概要	保育室 5室 職員室 1 遊戯室 1 調理室 1 乳児室・ほふく室 1 トイレ 3（中2 外1）	（設備等） プール、砂場、FRP製ドーム 滑り台、ジャングルジム ブランコ、鉄棒、総合遊具

③理念・基本方針（※転載）

理念

保育所保育指針を踏まえ、ほほえみと感動のある幼稚園を目指す

基本方針

子ども一人一人の生きる力の基礎を育む

- ・子ども達が主体的に環境に関わりを持ち、自ら考えやり遂げ、豊かな生活ができるようにする。
- ・一人一人の個性を大切にしながら、健康で楽しい生活ができるようにする。
- ・様々な人との交流を通して、生きる喜びや思いやりの心など豊かな心情を育てる。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

●立地・環境

- たにぐみ幼稚園は、四方を山に囲まれた緑豊かな地域にある。フェンスを隔てて谷汲小学校が隣接し、幼小の交流も盛んである。また、近くにデイサービスセンターや老人ホームもあって、高齢者との交流もできる。
- 観光名所でもあり日本最古の観音霊場である西国三十三番満願霊場谷汲山華厳寺も近く春の桜、新緑、秋の紅葉、雪景色と四季を通して参詣人が多く賑やかである。
- 昭和32年4月、定員60名で谷汲保育所として発足し、昭和36年4月には横蔵地区からの通園も始まり定員80名となった。昭和51年1月には谷汲村深坂に新園舎が竣工、定員120名と園児数も増加した。
- 平成17年1月の町村合併により、旧揖斐川町、谷汲村、春日村、久瀬村、藤橋村、坂内村が合併し「新揖斐川町」が誕生し揖斐川町立谷汲保育園となった。
- 平成23年揖斐川町立たにぐみ幼稚園に園名が変更。
- 平成24年4月、ながせ幼稚園と統合し、谷汲地区で唯一の幼稚園となった。園舎も現在の谷汲名札に木造平屋建ての園舎が竣工した。
- 新園舎は、木材生産地だけあって保育室、机、椅子、ロッカーなどの調度品すべてが木製仕様で、温かい雰囲気醸し出している。
- L字型の園舎は角の部分が遊戯室で、遊戯室の右側に倉庫、以上児保育室（4室）、トイレを配置、左側に給食室、職員室、未満児室が配置され、職員室からは窓越しに未満児室の様子を看ることが出来る。
- トイレは、全て洋式、バリアフリー仕様で清潔であった。また、保育室内には手洗い（蛇口3か所）が設置されており、子ども達は並んだり、時間待ちすることなくクラスごと自由に手洗い、歯磨きができる。
- 園庭は子ども一人当たりの面積が12.1㎡あり、全員と一緒に園庭に出て遊べる十分な広さがあり、総合遊具、プール、ブランコ、砂場、鉄棒等定番の遊具の外、バンピ（7基）、木製ハウス、FRP製ドーム、などが備えられていた。また、園庭の一部は芝生化されており、初夏にはバッタ採り、四葉のクローバー探しに熱中する子どももいるようであった。

●創立記念行事

- 創立以来64年の歴史を持つ幼稚園は、節目ごとに記念行事を開催している。内容としては昭和42年の10周年記念作品展、昭和54年の航空写真撮影、昭和62年の園歌発表、作品展、平成19年の創立50周年記念大運動会などである。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年7月1日（契約日） ～ 令和3年12月24日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	初回

⑥総評

◇特に評価の高い点

●通園バス

- ・子どもたちの送迎は2台の自園の通園バスによって行われている。長瀬方面は9か所、谷汲・横蔵方面は13か所のバス停が設定され、保護者は停留所まで、子どもを連れて行けば、専任の運転手、添乗員が園まで無事に送ってくれる。働く保護者の送迎の負担が大きく軽減されている。バスはいずれも園を8時25分～30分に出発し9時20分～25分頃には園に到着する。降園は15時30分の出発である。
- ・自園のバスを利用して、いつでも地域にでかけ、自然を散策することが出来る。

●全クラスで連絡帳

- ・バス利用のため、登降園時の保護者と担任保育士との連絡、情報交換ができない。このため、通常は未満児だけが連絡帳を使用しているが、ここでは以上児を含めた全園児に連絡帳が設けられている。降園時間が15時30分と制約された時間内に、担任保育士は情報などを連絡帳に記入しなければならないので、午後の時間帯、保育士は多忙をきわめる。ご苦労が偲ばれるところである。

●あお組（年長児）の給食タイム

- ・食卓となる机は当番グループの子どもたちが拭いている。
- ・箸は個人使用で子どもたちが毎日持参している。カレーライスなど、スプーンを使用する献立の時もお惣菜を食べるときは必ず箸を使用している。
- ・早く食事を終わった子どもは、食器を決められた場所に戻し、ロッカーの前に椅子を移動して、絵本を読みながら全員が食事を終えるのを待っている。
- ・全員の食事が終わると、再び机の自分の席に戻り、CDから流れる歯磨きの歌に合わせて、全員一緒に曲が終わるまで歯磨きする。手洗い、うがいは保育室内にある洗面所で出来る。
- ・机を隅に片付け、床掃きは当番のグループがする。保育士は掃きやすいように、紙を細かくちぎって床に撒いていた。
- ・これら、一連の流れは、子ども達を4グループに分け、それぞれの作業を当番制で進めていた。

●外部講師や地域の高齢者による、さまざまな教室が子どもたちに人気で、子ども達には待ちどおしく、楽しい教室である。内容は以下のとおりである。

- ・歌唱指導や鼓隊リズム打ちの指導（5歳児）。毎月1回。
- ・器械体操や手具運動などの体操指導（3・4・5歳児）。年5回。
- ・外国語指導助手による英語指導（5歳児）。毎月1回。
- ・地域の高齢者による茶道教室（5歳児）年5回。
- ・リトミック教室（2・3・4・5歳児）年2回。

●アンケート

- ・今回の調査に際し、当調査センターは保護者全員に対し、38項目について満足度のアンケート調査を実施した。アンケートの回収率は76.7%と保護者の関心は非常に高かった。
- ・理念・基本方針の周知度はやや低いが、子どもの遊び、園での生活、職員の対応につ

いての項目では保護者は十分満足しており、総合満足度でも回答者全員が満足と回答し、100%であった。

- また、5歳児の男女4人の子どもにインタビューを行った。遊びのこと、給食のこと、手洗いのこと、ケガのこと等いろいろな質問に、みんな元気に答えてくれた。
- 大きくなったら、何になりたいか尋ねたところ、男の子はコックさん、ピザ屋さん、女の子はケーキ屋さん、メイク（美容師）さんになりたいと答えてくれた。
- 子どもたちが毎日、元気で園生活を楽しんでいることが窺えた。

◇改善を求められる点

●安心・安全のリスク管理

- ヒヤリハットによるリスク管理については、更なる整備、向上が望まれる。
- 普段は使用していない遊戯室、物入れなどに子どもたちが不用意に入らないよう施錠をするなど、安心・安全の更なる対策を期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審をすることにより、保育内容、安全面、衛生面、保護者サービスなどについて一つ一つを見直し、職員間で話し合い、足りないものは補い改善しながら取り組んできました。保育の理念や基本方針、目標などについても共通理解し、マニュアルを見て確認、見直しをしました。全職員で普段の保育を見直すことで今何が必要なのか、すべきことは何なのかを考えることができ、多くの学びがありました。評価結果を踏まえ、今後も地域の子育て支援の場として、子ども達が安心・安全に園生活を送ることができるよう、保育サービスの質の向上及び保育士自身の資質の向上を目指して取り組んでいきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。